公益財団法人仁科記念財団
第38回理事会議事録

1. 日時 令和4年3月18日（金曜日） 17時30分～18時00分
2. 形式 WEB会議（Zoomによる）
3. 出席 総数11名（理事現在数11名）

出席理事：

安藤恒也 家 泰弘 伊藤公孝 上蓑義朋 梶田隆章
小林 誠 佐々木 節 十倉好紀 永宮正治 藤川和男
矢野安重

以上11名

出席監事：

荒船次郎 鈴木増雄

以上2名

4. 議事の経過と結果

第38回理事会をWEB会議として開始するにあつて、出席（参加）理事、監事、全員の音声および映像が共有されていることを確認した。

定刻、小林理事長が議長となり、出席理事数が定款第37条3項に定める定足数6名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 業務執行状況報告

議案審議に先立って、定款第28条第4項に則り、小林誠理事長、家泰弘常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、令和3年度下半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

(2) 議案審議

第1号議案：令和4年度（2022年度）事業計画書および収支予算書案の承認の件

小林誠理事長より令和4年度（2022年度）事業計画書および収支予算書案の説明があり、審議の結果、全出席理事異議なく原案通り承認された。

第2号議案：特定資産を815万円取り崩す件

小林誠理事長より2022年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を815万円取り崩したい旨提案があり、全出席理事異議なく承認された。

第3号議案：次期仁科記念賞選考委員の選任の件

小林誠理事長より、次期仁科記念賞選考委員（任期：2022年4月1日から2024年3月末日まで）として、安藤恒也委員長ほか9名を重任とし、新たに5名を選任したい旨提案があり、審議の結果、全出席理事異議なく原案通り承認された。

第4号議案：資金調達および設備投資について

小林誠理事長より「2022年度に借り入れおよび設備投資の予定はない」旨報告があり、全出席理事が了承した。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第40条に則り理事長のほか荒船次郎、鈴木増雄両監事とすることとした後、議長、本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

令和4年3月18日

公益財団法人仁科記念財団 第38回 理事会

理 事 長

小 林 誠

署 名 人

荒 船 次 郎

署 名 人

鈴 木 増 雄

公益財団法人 仁科記念財団

令和 4 年度（2022 年度）事業計画書（案）

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、故仁科芳雄博士が開拓した原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成です。

令和 4 年度（2022 年度）は、以下の公益目的事業を行います。

（1）仁科記念賞、仁科アジア賞の授与

仁科記念賞は、財団が創立した 1955 年に第 1 回が授与されて以来の長い伝統をもち、原子物理学の分野では最も評価の高い賞としてよく知られています。2022 年度（第 68 回）も例年通り、2022 年 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、**応用物理学会誌** **日本化学会誌**等に仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募します。選考は仁科記念賞規程に則り選考委員会で行い、受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 60 万円の副賞を授けます。授賞件数は、3 件以内とし、選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に発表するとともに、授賞理由を当財団ホームページとアジア太平洋物理学会連合（Association of Asia Pacific Physical Societies: AAPPS）の Bulletin 上に公表します。本年度の授賞式は、仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日（火）に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で執り行います。

仁科記念財団は、将来性豊かなアジアの若手研究者を鼓舞激励するため、2012 年度に仁科アジア賞（Nishina Asia Award）を創設しました。仁科アジア賞は、アジアに研究基盤において極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後 15 年以内）を毎年 1 名選考して、賞状と賞牌および賞金 40 万円を仁科記念賞授賞式の場で授与するというものです。2022 年（第 10 回）も例年通り、2022 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を公表するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募しています。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会で行い、選考結果は理事長の承認を得て本年 9 月初旬には受賞者に通知します。また、すみやかに当財団ホームページと AAPPS の Bulletin 上に選考結果を公表します。

（2）仁科記念講演会の開催

仁科記念講演会は、社会に原子物理学およびその応用の真髓を知っていただくため、1955 年以来毎年、一般の参加を得て開催されてきています。本年度は、第 68 回の定例

講演会を開催します。

(3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営

「仁科記念室」に保存されていた資料・物品の理化学研究所への移管が昨年度完了したことを踏まえ、それらの史料の整理を理研史料室と共同で行うとともに当財団のホームページの「仁科芳雄デジタル記念館」での公開を進めます。

(4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

本年度も、仁科記念財団案内、仁科記念講演会の講演録や講演録画とともに、当財団がこれまで冊子体として刊行してきたものを全て電子化してホームページの「出版および史料研究調査」に順次公開します。

(5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

本年度も、仁科アジア賞受賞者を、授賞式の前後約 1 週間、わが国研究者との研究交流のため招聘します。なお本年度は、コロナ禍のために招聘できなかった、2020 年度と 2021 年度の受賞者 2 名も招聘します。

令和4年度(2022年度)収支予算書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益財団法人仁科記念財団
(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
基本財産受取利息	5,000,000	5,000,000	0	
② 特定資産運用益	(170,000)	(150,000)	(20,000)	
特定資産受取利息	170,000	150,000	20,000	
③ 受取会費	(1,610,000)	(1,610,000)	(0)	
賛助会費受取会費	1,610,000	1,610,000	0	
④ 受取寄付金	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)	
受取寄付金	1,100,000	1,100,000	0	
⑤ 雑収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	0	0	0	
経常収益 計	7,880,000	7,860,000	20,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
仁科記念賞顕彰費	3,480,000	2,700,000	780,000	
仁科記念講演会費	199,800	300,000	△ 100,200	
仁科記念奨励金	1,455,200	1,000,000	455,200	
研究関連出版物刊行費	100,000	200,000	△ 100,000	
諸謝金	620,000	640,000	△ 20,000	
役員報酬	600,000	1,200,000	△ 600,000	
給料手当	2,930,000	2,930,000	0	
旅費交通費	1,120,000	1,120,000	0	
会議費	210,000	220,000	△ 10,000	
通信運搬費	100,000	200,000	△ 100,000	
消耗品費	200,000	200,000	0	
賃借料	480,000	480,000	0	
物件使用料	350,000	350,000	0	
支払手数料	30,000	60,000	△ 30,000	
雑費	0	0	0	
事業費合計	11,875,000	11,600,000	275,000	74.08 %
② 管理費				
諸謝金	330,000	330,000	0	
役員報酬	600,000	1,200,000	△ 600,000	
給料手当	1,840,000	1,840,000	0	
福利厚生費	20,000	20,000	0	
旅費交通費	340,000	350,000	△ 10,000	
会議費	55,000	10,000	45,000	
印刷製本費	140,000	330,000	△ 190,000	
通信運搬費	100,000	100,000	0	
消耗品費	150,000	150,000	0	
賃借料	120,000	120,000	0	
物件使用料	350,000	350,000	0	
支払手数料	10,000	30,000	△ 20,000	
雑費	100,000	250,000	△ 150,000	
管理費合計	4,155,000	5,080,000	△ 925,000	25.92 %
経常費用 計	16,030,000	16,680,000	△ 650,000	
当期経常増減額	△ 8,150,000	△ 8,820,000	670,000	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		0		
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用 計	0		0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,150,000	△ 8,820,000	670,000	
一般正味財産期首残高	65,000,000	122,000,000	△ 57,000,000	
一般正味財産期末残高	56,850,000	113,180,000	△ 56,330,000	
II 指定正味財産増減の部		0		
基本財産運用益	5,100,000	5,000,000	100,000	
一般正味財産への振替額	△ 5,100,000	△ 5,000,000	△ 100,000	
当期指定正味財産増減額	0		0	
指定正味財産期首残高	636,324,975	586,324,975	50,000,000	
指定正味財産期末残高	636,324,975	586,324,975	50,000,000	
III 正味財産期末残高	693,174,975	699,504,975	△ 6,330,000	

見積もり条件

- 1) 授賞式会場: 学士会館(立食80名) 過去受賞者6名招待
- 2) 仁科記念賞賞牌: 2名分(在庫) 4名分発注
- 3) 仁科アジア賞: 過去の2名招聘
- 4) 評議員会: 対面
- 5) 理事会: 対面(3回)
- 6) 運営会議: 3回(対面) 6回(オンライン)
- 7) 仁科記念賞選考委員会: 1回(オンライン) 1回(対面)
- 8) 仁科アジア賞選考委員会: 1回(オンライン) 1回(対面)
- 9) 財団案内: pdf印刷
- 10) 記念講演会: ハイブリッド(講師2名)

令和3年度(2021年度) 収支予算書(損益計算ベース)内訳書
2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人仁科記念財団
(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(3,500,000)	(1,500,000)	(5,000,000)	
基本財産受取利息	3,500,000	1,500,000	5,000,000	
② 特定資産運用益		(170,000)	(170,000)	
特定資産受取利息		170,000	170,000	
③ 受取会費	(805,000)	(805,000)	(1,610,000)	
賛助会費受取会費	805,000	805,000	1,610,000	
④ 受取寄付金	(1,050,000)	(50,000)	(1,100,000)	
受取寄付金	1,050,000	50,000	1,100,000	
⑤ 雑収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	0	0	0	
経常収益 計	5,355,000	2,525,000	7,880,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
仁科記念賞顕彰費	3,480,000		3,480,000	
仁科記念講演会費	199,800		199,800	
仁科記念奨励金	1,455,200		1,455,200	
研究関連出版物刊行費	100,000		100,000	
諸謝金	620,000		620,000	
役員報酬	600,000		600,000	
給料手当	2,930,000		2,930,000	
旅費交通費	1,120,000		1,120,000	
会議費	210,000		210,000	
通信運搬費	100,000		100,000	
消耗品費	200,000		200,000	
賃借料	480,000		480,000	
物件使用料	350,000		350,000	
支払手数料	30,000		30,000	
雑費	0		0	
事業費合計	11,875,000		11,875,000	74.08
② 管理費				
諸謝金		330,000	330,000	
役員報酬		600,000	600,000	
給料手当		1,840,000	1,840,000	
福利厚生費		20,000	20,000	
旅費交通費		340,000	340,000	
会議費		55,000	55,000	
印刷製本費		140,000	140,000	
通信運搬費		100,000	100,000	
消耗品費		150,000	150,000	
賃借料		120,000	120,000	
物件使用料		350,000	350,000	
支払手数料		10,000	10,000	
雑費		100,000	100,000	
経常費用 計	11,875,000	4,155,000	16,030,000	25.92
当期経常増減額	△ 6,520,000	△ 1,630,000	△ 8,150,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 8,150,000	
一般正味財産期首残高	0	0	65,000,000	
一般正味財産期末残高	0	0	56,850,000	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	3,500,000	1,500,000	5,000,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,500,000	△ 1,500,000	△ 5,000,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	636,324,975	
指定正味財産期末残高	0	0	636,324,975	
III 正味財産期末残高	0	0	693,174,975	

公益財団法人 仁科記念財団
第9回 運営会議・運営諮問委員会 議事次第

日 時：2022年3月18日（金）18:00~19:30

形 式：WEB会議（by Zoom）

議長：理事長

1. 開会

2. 報告事項

- ① 3月1日、2022NAA候補推薦依頼のリマインダーを配信した。
- ② 3月18日17:30から第38回理事会が開催され、①令和4年度（2022年度）事業計画書および収支予算書 ②特定資産の815万円の取り崩し ③次期仁科記念賞選考委員（2022年4月1日～2024年3月31日）の選任が承認され、④資金調達および設備投資の予定はないことが了承された。

3月末日までに、議事録、事業計画書、収支予算書を内閣府に電子申請するとともに、HPに公示する。また、新仁科記念賞選考委員から重任、就任承諾書をいただく。

3. 運営諮問委員会への諮問事項

- ① 2022年度定例仁科記念講演会について
- ② 今後の予定について

[運営諮問委員会]

議長：早野委員長

議題1. 前回議事録（案）の確認（資料）

議題2. ①について

議題3. ②について

4. その他（次回日程：第1回運営会議） 5. 閉会

公益財団法人 仁科記念財団
第 8 回 運営諮問委員会 議事録 (案)

日 時：2022 年 2 月 21 日 (金) 17:30~19:30

形 式：WEB 会議 (by Zoom)

出 席

運営諮問委員 (委員現在数 6 名) 出席者 5 名：

早野龍五、磯暁、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

理事：

小林誠、家泰弘、藤川和男、矢野安重、安藤恒也、伊藤公孝、
上蓑義朋、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

監事：

荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：

西村純、山田作衛、

事務局：

松林孝昭

1. [理事長・事務局等報告]

- ① AAPPS Bulletin (新装版) に 2021NAA と 2021 仁科記念賞のニュース記事が掲載されたので、仁科記念財団の HP からリンクを張りつた。受賞者には報告済み。
- ② 新仁科記念賞選考委員 (2022 年 4 月~2024 年 3 月) : 1) 「家委員」→山本智 東大大学院理学系研究科物理学専攻・教授 2) 「大栗委員」→高柳匡 京都大学基礎物理学研究所素粒子論グループ・教授 3) 「川上委員」→古崎昭、理研古崎物性理論研究室・主任研究員 4) 「中畑委員」→井上邦雄 東北大学ニュートリノ科学研究センター・教授 5) 「細谷委員」→横山順一 東大大学院理学系研究科附属ビッグバン宇宙国際研究センター・教授 から就任の承諾をいただいた。(理事長) 第 38 回理事会での承認を得て、就任承諾書をいただく。
重任：安藤委員長ほか、相田委員、小林委員、高橋委員、瀧川委員、中村委員、初田委員、日笠委員、三明委員、山内委員 (9 名)

2. [運営諮問委員会への諮問事項]

- ① 来年度予算編成と来年度以降の事業計画の見直しについて

3. [運営諮問委員会]

議長：早野委員長

議題 1. 前回議事録 (案) が確認された。

議題 2. ①について：継続審議とした。

4. その他 5. 閉会

次回の2021年度第9回運営会議・運営諮問委員会は2022年3月18日（金）第38回理事会に引き続いて18:00~19:30にWEBで開催することとした。